

私の松井繁名誉会長の思い出 ～1999年「日本白鳥の会・米子水鳥公園合同研修会」～

神谷 要

(財)中海水鳥国際交流基金財団, 683-0855 米子市彦名新田665

私の松井名誉会長の思い出は、実は殆どありません。実際にお会いできたのは、1999年1月30日に鳥取県米子市米子コンベンションセンターで行った「第23回日本白鳥の会・米子水鳥公園合同研修会」の一度きりだったと思います。私は、まだ就職4年目で、初めての全国規模の大会の運営に色々と戸惑っているときのことでした。

日本白鳥の会は、この2ヶ月前の総会で松井会長が名誉会長に退き、現藤巻裕蔵会長の体制に移行しました。そのようなわけで、この研修会に先立ち、会長交代の挨拶をして頂いたのを覚えています。私が、白鳥の会をお手伝いするようになったのもこの時からで、当時の松井先生は、会う人、会う人に「白鳥の会を盛り立て下さい。」とお願いされているのがとても印象的でした。

私の手元には、当時の米子での研修会の発表者リストが残っています。

◎特別講演

藤巻裕蔵(日本白鳥の会会長):ロシア・レナ川中流域でのハクチョウ類生息状況調査

◎ 研究発表

仁科久雄(湖北野鳥の会):滋賀県湖北町に飛来するハクチョウ類

小西敢(クッチャロ湖水鳥観察館):クッチャロ湖における白鳥の飛来数について

菊地昶史(日本白鳥の会):白鳥の会ハクチョウ類観察記録とりまとめについて
目次俊夫(山陰ビデオシステム):ロシア・コリマ低地でのハクチョウ調査
脇坂英弥(ホシザキグリーン財団):出雲平野におけるコハクチョウの生息状況
山本良征(日本野鳥の会鳥取県支部):中海のハクチョウ
神谷要(米子水鳥公園):中海で行われた首輪標識

図2. 研修会で筆者に質問する松井繁氏.

参加者は45名でしたが、当時の私にとってはいろいろな意味で大変勉強になった会でした。松井先生は、私のコハクチョウの渡りに関する発表について、「白鳥が、日本海を渡るとは面白い。昔、そんな事をしきりに言っていた人がいた。彼も喜んでくれるだろう。」とコメントを頂きました。

また、米子水鳥公園の施設を見て、「鳥を観察するためにこんな施設ができる時代になったのだね。」と感慨深げに語られていました。

図3. 第23回日本白鳥の会研修会、米子大会の集合写真

その後、先生の体調が悪いとはお聞きしていましたが、クッチャロ湖での東アジアガンカモネットワーク第一回会合(1999年11月)は1日違いですれ違いになってしまったほか、2003年5月の同じくクッチャロ湖の白鳥の会の研修会には私が参加できず、すれ違いのままとなってしまいました。

ぜひ、「日本白鳥の会」創生期のころのお話や、「国際湿地連合日本委員会」の創設の話、日本のラムサール条約加盟の話などいろいろお尋ねしたいと考えておりましたのでとても残念です。

松井先生の御冥福をお祈りするとともに、先生の湿地保全にかけた情熱を少しでもひきつぐことができたらいいと考えております。

2004年晩秋 中海の水鳥たちと共に…